



秋の森林散策会

こまば木の広場・濤沸湖水鳥湿地センター

リス&水鳥にビックリ！

9月30日（日）、台風の接近予報もありましたが、幸いにも天候に恵まれ17名の参加により秋の森林散策会を行いました。

今回は、大型商業施設や住宅地と接する「こまば木の広場」（網走市駒場）、2012年に環境省が設置（網走市などが管理運営）した「濤沸湖水鳥・湿地センター」（網走市北浜）の2ヶ所で自然と人間の関わりを学びました。



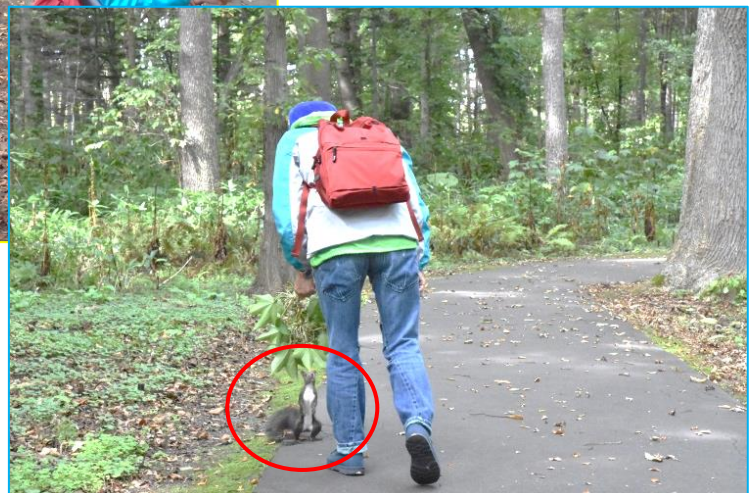
「こまば木の広場」は、オホーツク海に隣接する崖上の高台に位置し、遠くは知床連山を見ることが出来る景勝地で、手つかずの巨木が生い茂る森林が全長 5km にわたり広がっています。

参加者の声

- 適度な距離で足元も良く、傾斜が穏やかなので、お年寄りでも楽しく無理なく歩けるコース、また歩きたい。
- オオウバユリの群生地があったので開花時期に訪れたい。
- 住宅のすぐ近くなのに野鳥やエゾリス・シマリスを見ることができ感動した。
- 身近な町の中に巨木が生い茂る森が残されており、今までよく自然が守られてきたと感心した。
- 数年前まで網走に住んでいたが、このようなすばらしい場所があることを知らなかった。



- リスと人間の距離があまりにも近く、野生動物へのえさやりについて考えさせられた。



「**濤沸湖水鳥・湿地センター**」では、濤沸湖の概要を映像で観た後、センター職員の解説を受けながら、湖に戯れる水鳥を観察しました。

川の水と海水が入り混じる濤沸湖は、生き物にとって栄養豊富な環境で、冬を前に南へ渡るオオハクチョウやさまざまなカモなどおよそ 50 種類の水鳥が立ち寄り羽を休めるそうです。



参加者の声

- 普段見ることのできない渡り鳥の多さに驚いた。
- 初めて望遠鏡で野鳥を見た。野鳥が身近に感じるようになった。
- オオワシ（レプリカ？）を間近に見て、その大きさにビックリした。

＜吉田昭＞



【なるほどクイズ】

（答えは会報のどこかに…）

日本人にとってなじみの深い動物「タヌキ」。その分布は、ロシアと中国の国境付近からインドシナ半島北部と日本にだけ（移入種としてヨーロッパで問題視されている）です。

日本には、ホンダタヌキ・エゾタヌキの 2 種がいて、昔話や歌・アニメなどにも登場しますが、その生態・習性はあまり知られていません。

そこで今回は「タヌキ」に関する問題です。

寝たふりをするを「タヌキ寝入り」と言いますが、タヌキは本当に寝たふりをするのでしょうか？

YESorNO？ さあ、どっち？

森へおいでよ！パネル展

子供たちで大賑わい！

9月29日（土）～10月8日（月）、北見市緑のセンターで常呂川森林ふれあい推進センターとの共催により「森へおいでよ！パネル展」を行いました。



会の活動状況や「オホーツクの森」を中心とした花、動物等のパネルと合わせて、会員が作ったネイチャークラフトや写真の展示も行いました。

期間中には地元の方はもちろんのこと遠くからの来場者もあり、熱心に写真を眺めたり、クラフトに興味津々、ジッと観察する人もいました。

一方、市内の保育所等からは合計140人以上の子供達が訪れ、自分で動かすことのできる竹とんぼなどに夢中になり、室内は大賑わいの状態になりました。

なお、後半の3日間は、竹とんぼやマツボックリを利用したクラフト、森林をイメージしたジオラマ、枝に穴をあけたエンピツ立てなどを作成したほか、緑ヶ丘森林公園での散策会を行いました。

クラフト作りでは、保育士として訪れていた人が、改めて自分の子供を連れ楽しんでいただけたほか、長時間かけ熱心に作成している親子姿が印象的でした。



パネル展は多くの市民に森林への関心を持っていただくきっかけになったことと思います。

なお、協力を頂いた方は次の通りです。
【角、栄、長谷川、渋谷、金村、植村、小島、吉田正、小山、大野、長南、吉田昭】
＜吉田昭＞

第2回森林づくり塾

最新設備に驚き！

10月20日（土）、常呂川FC主催の平成30年度第2回森林づくり塾が行われ、当会会員を含めて14名が参加しました。

今回は、最新の設備を整えている木材工場（斜里町、佐藤製材工場）、戦前から苦心して育てている海岸防災林（小清水町止別、国有林）の見学でした。

工場では、工務店等からの注文に合わせて製材するプレカット工法に「すごく進歩している。」「大工さんいない！」などの声がありました。



また、海岸防災林では「先人の苦勞が偲ばれる」との声、そして、常呂川FC磯野さんから勧められたアキグミの甘酢っぱい味と知床連山を一望できる風景（友達を案内したい！）…貴重な見学・体験と楽しみが盛りだくさんの秋の一日でした。

なお、当会の参加者多数のため、氏名報告は省略させていただきます。
＜渋谷＞

【なるほどクイズ】（答え）



死んだふり、寝たふりをするという意味の「たぬき寝入り（擬死）」とよばれる言葉は、猟師が猟銃を撃った時にその銃声に驚いてタヌキは弾がかすりもしていないのに気絶してしまい、猟師がしとめたと思って油断すると、タヌキは息を吹き返しそのまま逃げ去ってってしまうというタヌキの非常に臆病な性格からきているそうです。

タヌキを漢字で書くと「獸偏に里」・・・昔から人間と関わりが多く、身近な動物だったようです。

その他にも「タヌキ腹」、「タヌキ親父」など、身近なタヌキもたくさんいるようですが…。

第6回自主活動

怪しい!

白い集団現わる!

好天に恵まれた9月11日(火)、今年度6回目の自主活動として7名の参加によりオホーツクの森展望台の塗装を行いました。

これは「ふれあいの森」協定に基づく活動として実施したもので、昨年塗り残した裏面と損耗の激しい表面のペンキ塗りをしました。



昨年の反省(「ペンキがついて衣類がダメになった」)を受けて、使い捨ての防汚衣等を装備して…「どこかの宗教団体みたい」「怪しい人たちがいると警察に通報されるかも」、そんな会話を交わしながら作業開始です。

およそ1時間半で作業終了、見違えるほどきれいに化粧直し…多くの皆さんがこの展望台を利用してくれることを期待します。

午後からは、食べられるキノコをめざして有志数名で平安遊歩道を散策…数多くのキノコがありましたが、判定できる「知識」も食べてみる「度胸?」もなく採取(試食)は断念!しましたが、秋の気配を感じさせる森林は気持ち良かったです。



なお、参加者は次のとおりです。
【栄、小島、小林、金村、小山、渋谷、吉田正】

<吉田正>

手作業は大変！

口は動くけど身体が…

「古の森」遊歩道が作られてから10余年、常呂川ふれセンから「木橋が老朽化・腐朽してきたので相談に乗って…」と言葉巧みに誘われ、オホーツクの会で補修（掛け替え）することになった。

当日は、技術・経験・体力・（口）を考慮して選抜されたメンバー（栄、長谷川、小原、金村、吉田昭、植村）で作業開始、「船頭多くして船山に上る」ことはなかったが、手作業は大変、機械のありがたさが身にしみる。

第7回自主活動

どうにか作業を終え、車に乗り込んだら雨が降り出してきた。
＜植村＞

10月16日（火）、12名の参加により、第7回自主活動として、古の森遊歩道の木橋架け替え、森の家周辺の環境整備、炭焼き（プラス調理）を行いました。

青空食堂オープン？

薪ストーブでの炭作り、森の家周辺の環境整理、草刈りをしながら食材（キノコ）調達、昼食準備と分担し動いた。（小林、小島、大野、吉田正、渋谷、小山）

炭作りの材料は、ハスの実、ハスの蕾、ホオズキ、栗イガなど、およそ50分で完成（作品の完成度の高さに感動！）。

さらに、ストーブの中ではタマネギの蒸し焼き、鉄瓶にはヤキイモが入り、イス・テーブルも配置、青空食堂の準備はOK！工作隊の帰りを待つ。

「そろそろ昼」という頃、晴天がウソのように暗くなってきた。あわててテーブル・イスを撤去、橋修理作業員？が戻ってきたときは土砂降り…。

屋内で会員特製のアメマスの天ぷら、シシャモの燻製、かぼちゃ団子、そして、きのこ・野菜たっぷりの鍋で冷えた身体を温めた。

＜小山＞

出来栄はお炭つき！

炭づくり隊

11月4日（日）、「森の家」で総勢15名の参加により、炭づくり隊の活動を行いました。

11月とは思えない暖かさ、晴天のもと、スチール缶にそれぞれが持ち寄った折り紙、ホオズキ、マツボックリ、ミカン、クッキーなどを入れ、釘で穴を開けたフタをしてストーブの上へ…およそ50分で作品の完成です。

そして、炭焼きの合間にヤキイモ、ピザ、ジャガイモのチーズ乗せなど、秋の味覚も出来上がりました。

化粧炭の出来栄も料理の味も間違いなし（×お炭つき、○お墨付き）、みんなでおおいしくいただきました。



最後に角副会長の「会の取り組みも今年はこれで最後になりますが、来年も元気に楽しくやりましょう。」の締めで終了しました。



調理に協力いただいた皆さん、食材を提供していただいた皆さん、お忙しいところ参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

【参加者多数のため氏名省略します】

<炭づくり隊隊長 小島>



※ 申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい

○冬の自然観察会

日 時 平成31年 3月 3日 (日)

集合 8:15

出発 8:30

到着 15:30 予定

常呂川FCより貸し切りバスが出ます。

場 所 呼人半島

内 容 スノーシューを履いての森林散策他 (高確率でオオワシ・オジロワシを見ることができます)

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物他 (スノーシューは無料で借りることができますが、お持ちの方はご持参下さい)

参加費 200円 (保険料等)

申込み 2月21日 (木) まで

○第11回総会

日 時 平成31年 3月16日 (土)

10:00~

場 所 常呂川森林ふれあい推進センター 2階会議室

隊員募集しています！

◆自然に学び隊	隊長	吉	田	昭	義
◆炭づくり隊	隊長	小	島		愼
◆クラフト研究隊	隊長	渋	谷	朝	美
◆竹とんぼ隊	隊長	長	谷川	秋	夫
◆身体動かし隊	隊長	栄		平	男
◆色いろ食べ隊	隊長	金	村	輝	雄
◆活動広め隊	隊長	植	村	之	彦
◆ロープ結び隊	隊長	角		良	和

◎重複参加もOKです。

木々に関するつぶやき



ドングリ（団栗）

残念ながらドングリという木はありません。

ドングリは、ブナ科の、特にカシ・ミズナラ・カシワなどコナラ属樹木の果実の総称で、一部または全体を殻斗（かくと）に覆われる堅果です。

これはブナ科の果実に共通した特徴であり、またブナ科にほぼ固有の特徴です。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。（退会される方は事務局へ一報願います）



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144